

件名	令和 6年度 福井市障がい者自立支援協議会 第 1回地域移行・地域定着部会 報告書		
日時	令和 6年 5月 7日(火) 14:00~15:15	会場	福井メディックス 2 階
出席者	別紙		
欠席者	門委員、森下委員		
報告事項	1. 令和 5 年度全体会の報告について：部会長 資料 1 2. 令和 6 年度の部会スケジュールについて：障がい福祉課 次第 下欄 ※報告後の質疑無し		
協議事項	1. 各WGの進捗報告等について 資料 2 - 1 ~ 2 - 4 2. 令和 6 年度の取組について 資料 3 3. ワーキンググループ割り振りについて 資料 4 - 1 ~ 4 - 3		
協議内容	1. 各 WG の進捗報告等について (1)地域の理解促進 WG ※資料 2-1		
報告	〔堀委員〕 理解促進の資料作成と地域への研修開催案内を実施し、成和民生委員児童委員協議会と北部民生委員児童委員協議会での研修会を開催。 北部民児協からは地域移行・定着部会と居宅部会両方に対して依頼があった。居宅部会の方では身体障害をメインとして話し、当部会では、精神障害を中心とした内容にする旨を会の担当者間でやり取りし、住み分けしながら進めた。		
意見	課題①：主催者側は、明確な内容や思いのイメージがなく、漠然としていることが多い為、主催者側が求めていることを明確にするよう、最初のやり取りに力を入れなければ、内容がぼやけてしまう。今後、2つの部会にまたがり協働で行う場合、研修内容の住み分けと主催者側と受付の部分でのやり取りを考えていった方が良い。		
	課題②：研修後に日頃の地域での活動での悩みなどを吐露される方が多く、そのような声を自立支援協議会でどう受け止め、それに対しどのようにアクションを起こしていくべきか。 〔部会長〕 ・以前、年配の 80 歳ぐらいの女性が「障がいのあるなし関係なく、高齢者も一緒に集まる場所があるといいよね」と言ってくれていたのはすごく良かった。この活動をしていくことで周知されていく事は良い。 〔基幹 坪田〕 ・高齢者と障がい者が一緒に活動できる場所、それを民生委員と絡めてやるならば居宅部会で対応できる気がする。当事者が話をできるという形で、身体障がいの方が今、講師としてやっているが、継続するのか。居宅部会が身体障がい者で地域移行・地域定着部会が精神障がいという事でもなく、当事者の中に様々な当事者の会があって、居宅部会の中には身体、知的、精神の当事者の会があり、その他にも色々な方がいる。一緒にできればいいと思う。居宅部会は後に動いている為、居宅部会として説明できること、合同でやれることを、居宅の中に持ち込んでもいい話かなと思う。		
	(2)研修開催 WG ※資料 2-2		

<p>報 告</p>	<p>〔吉田隆委員〕</p> <p>昨年度3月7日に県立病院で、病院のワーカー、作業療法士、看護師などのコメディカルスタッフを対象に実施。カウントについてはアンケートグループが取りまとめた資料を参照。メーカーからは研修グループの他に、回答の方や、アンケートグループ、事務局、福井市の障がい福祉課の方にも参加してもらい話し合い済み。内容は基本スライドに基づいて、事前に地域移行や拠点事業について何を聞きたいかを答えてもらった。その点の補足説明済み。</p> <p>課題：今年度開催の研修が決まっていないところ。</p> <p>提案：病院への働きかけが必要かどうか、又はもう働きかけている部分があるなら、どう進めたらいいかの確認が取れたらいいと思う。</p> <p>提案：ワーキンググループ等への依頼事項で記載しているが、研修開催にあたってアンケートグループの方が参加するかしないかを確認できるといい。確認次第で今年度のスケジュールリングを行っていく形になる。</p>
<p>意 見</p>	<p>〔部会長〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院のコメディカルから、家族会向けでも何かしてほしいようなことを言っていた。アンケート部会で研修の調整をしてもらえるのか。また、依頼があった時にピアサポートの人がしてもいいと思った為、その辺調整して実現できるといい。
<p>報 告</p>	<p>(3)ピアサポート WG ※資料 2-3</p> <p>〔安田純委員〕</p> <p>実際の研修会の流れを検討。紹介・説明の中で動画や写真があるとよりわかりやすいという話があった。内容については、依頼側の意向で修正が必要になってくるかと思う。</p> <p>課題：1年で1名だけという所ではあるが、精神の方なので、状態の変化はあると思う。他にも数名ピアサポーターがいると良いのではと話はできてきている。実施の事前打ち合わせから、多大な時間がかかってくると思うので、本人や所属する管理者の理解も必要になってくる。</p> <p>依頼事項：（事務局に）実施する際に依頼状とアンケートの作成が必要になってくる。昨年度ピアサポーター養成研修が開催されたが、可能なら受講された方を教えてほしい。</p>
<p>意 見</p>	<p>〔吉田隆委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年のピアサポーター養成研修修了者の名前を教えていいか確認が必要。今年度の基礎研を6月あたりに予定している。その時に研修者の名前を教えていいか確認。教える場合一筆必要かと思う。次回ピアサポの研修時、協議会での内容を話してみたい。案内や謝礼が出る事を合わせて発信できるといい。 ・6月19・20日ピアサポ基礎研あり。主催は、六条厚生で県の事業での委託事業。ケアサポートの体制加算を取るための研修。知識とか技術の担保ということで、フォローアップ研修は定期的に参加してほしい。フォローアップ研修を受けている方の名簿は事務局にはあるが、部会でオープンにしていいかどうかは当然確認しないとイケない。案内の際に、県に相談しなければいけない。研修の時にこういった部会があるという案内とかできるといい。 <p>(4)アンケート作成、実施、回収分析 WG ※資料 2-4</p>

<p>報 告</p>	<p>〔奥村委員〕</p> <p>民生委員向けの研修と県立病院に向けて、2つのアンケートを作成した。もう1つ想定しているのが、入所施設での研修を行った場合のアンケート（未実施）。その3つぐらいを作成しておくといいかないところまで進めてきた。令和4年の2年前はコロナ禍で1回も研修会の開催ができなかったため、去年はアピール活動にアンケートグループが選ばれたが、今年度も取り組みをしていこうと思う。去年はどこか1つ、最低限1回はやりたいという事で開催したが、ペースに合わせて、営業活動に取り組んだ方がいいかと思う。今年度目標として、できる事にアプローチをかけたいが、まず松原病院は1つかと思うが。意見を頂きたい。</p>
<p>意 見</p>	<p>〔吉田誠委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れる側としては民児協や、例えば、社会福祉協議会だと各地区単位の組織になったため、研修の際に一緒にやりたいと呼びかけることは可能。 <p>〔白藤委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームや介護老人保健施設には、精神障がいの人への対応に困っていて、相談がある。施設を出されてしまったり、入所できなかったこともあるため、理解に向け、怖くないという事、外見に現れることだけではわからないことを伝えていくと入所しやすいと思う。行き場が1つ増えるのかと思う。 <p>〔吉田隆委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松原病院と県立病院の家族会や入所施設系も入れると良いと思う。 <p>〔基幹 坪田〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や福祉委員で、障がい、特に精神障がいかわからないと思っている人にも働きかけるのが大事だと思う。 <p>〔吉田誠委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員は地区の社会福祉協議会の中で委嘱されて、民生委員よりも意識の濃淡があり地区内で順番に回している方も多。ただ、今の時期に福祉委員向けの研修をしているので、宣伝して話す事は十分できると思う。 <p>〔障がい福祉課 中野〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院への研修希望は、一通り行い、できるところから順番にしていけると良い。地区では、民生委員より先週1件問い合わせがあり、精神障がいの方の対応に困っている等、話をしてほしいという依頼がある。 <p>〔障がい福祉課 竹内〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬改定の中で、地域移行がクローズアップされ、特に入所施設の中で意向調査があり、今年度手をつけるのもいいと思う。
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族会が今どのぐらい機能しているかによるかもしれないが、働きかけていくことを考えたい。
<p>協議内容</p>	<p>2. 令和6年度の取り組みについて ※資料3</p>
<p>報 告</p>	<p>〔障がい福祉課 中野〕 ・</p>

意見	<p>次第にある5月31日の全体会の中で、当部会の今年度の取り組みを報告する必要がある。具体的には前年度取り組んだ内容の提示で考えている。会員の皆様を4つのワーキンググループに分けて、それぞれのテーマでアップしていくような内容になっている。資料3として案を提示しているがこの予定でいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
協議内容 報告 質問 回答 意見	<p>3. ワーキンググループ割り振りについて ※資料 4-1~4-3</p> <p>〔障がい福祉課 中野〕 令和6年度に取り組むワーキンググループについて、基本的には昨年と同様に、同じグループでの活動をお願いしたいと思う。</p> <p>〔吉田隆委員〕 ・研修開催グループ・つぐみ福祉会の門氏は、昨年度に協議会へ出られないとメールが来ていたが、今年度参加するののか。</p> <p>〔障がい福祉課 中野〕 ・参加すると聞いている。</p> <p>特になし。</p>
課題提起 質問 回答 質問 回答	<p>4. その他</p> <p>〔部会長〕 令和6年の障がい福祉サービスの報酬改定に伴って、施設の入所者に意見・意向を聞かなければならなくなった。福井市役所もどのように取り組むか決まっていない。地域移行・定着部会としては国の方針に則りながら、施設入所者の意見を確認していきたい。施設に入所している人で把握している人間が330人。330人全員に意向確認をするのは難しい。せめて1割の33人ぐらいの意向確認をしていけると良いのではと思っている。調査方法は、市役所、施設など調整・確認を取りながら実施する必要がある。ワーキンググループでいうとアンケートWGが取り組むことができないかと考えている。</p> <p>〔吉田隆委員〕 ・地域移行の実態調査は、基幹相談の業務に入っているのではないか。基幹相談では実態調査などやる予定はあるか</p> <p>〔基幹 坪田〕 ・この2年やっていたのは、高齢となった障がい者の介護関係施設への移行調査。皆さんと連携して分担・共同できればと思う。</p> <p>〔奥村委員〕 ・この部会ですというのはいまもう決定なのか。</p> <p>〔部会長〕 ・地域移行定着部会として、そこは地域移行していかないといけないと思う。330人利用している人がいるが、全部は無理だと思う。せめて1割ぐらいと思っている。あと誰に聞くかになると思うが、相談専門員が1番本人の意向を知っているはずだが、なぜか対</p>

意見	<p>象となっていない。</p> <p>〔基幹 坪田〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設入所支援は事業所内の相談員が主に相談支援を行っている。事業所によって、半年間は相談は持たないが、半年経ったらその法人の相談員が全部している所もあり、相談員ができないことはない。 <p>〔障がい福祉課 竹内〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 意向調査は、施設事業者が行うという話までは決まっている。ただ、それを具体的にというのは、まだ見えてない部分がある。部会の中でとなると、実際それをそのままやるのではなく、地域移行という中で、入所者の意向を確認していくのがいいのかなと思う。定められたその通りに全く一緒にやらないといけない訳ではなく、ある程度柔軟なやり方でどのような意向があるのか、どういう思いがあるのかを確認していけばいいのかなと感じている。 <p>〔安田 淳委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域移行調査は事業者が責任を持って行うこととなっている。それにプラスして、事業者が行ったことを確認するのは、行政の仕事ではないのか。さらに部会でそこを追いかけるのは、違うのではないか。もう1回同じ事をやる可能性もあるため、行政が入所施設に聞くだけの話かと思う。
質問	<p>〔部会長〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所が意向確認を行って、行政が確認する。それを教えてもらって発表するぐらいでも良いということか。
意見	<p>〔奥村委員〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院向けに作成したアンケートを、入所施設向けに修正して使用するのは非常にいいと思う。事業所の意向確認を受けてから、自分たちに何ができるかを話し合っていけばいいのではないか。
質問	<p>〔基幹 坪田〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ピアサポートのワーキンググループの開催を目指すと書いてあるが、検討するのは3人だがこれは、部会としてどんなことになるのか。3人お任せなのか。
回答	<p>〔部会長〕</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケート部会で 営業する時に、県立病院等の、病院の家族会に出てもらいたいという話があったので調整して実現したらいいなと思う。
意見	<p>〔基幹 坪田〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰を中心に情報収集して動いているかがわかればピアのメンバーもやりやすいと思う。
回答	<p>〔部会長〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 依頼があり希望があれば、事務局の方に話が行って、そこからピアサポートのこのワーキングの方に行くと思う。また利用してほしい。
依頼	<p>〔障がい福祉課 中野〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料 4-2 と 4-3 確認後連絡先交換など、次回の内容に関しても、またワーキンググループからの進捗報告として、資料の提出をお願いしたい。
次回	令和6年9月3日(火)14:00～

